

---

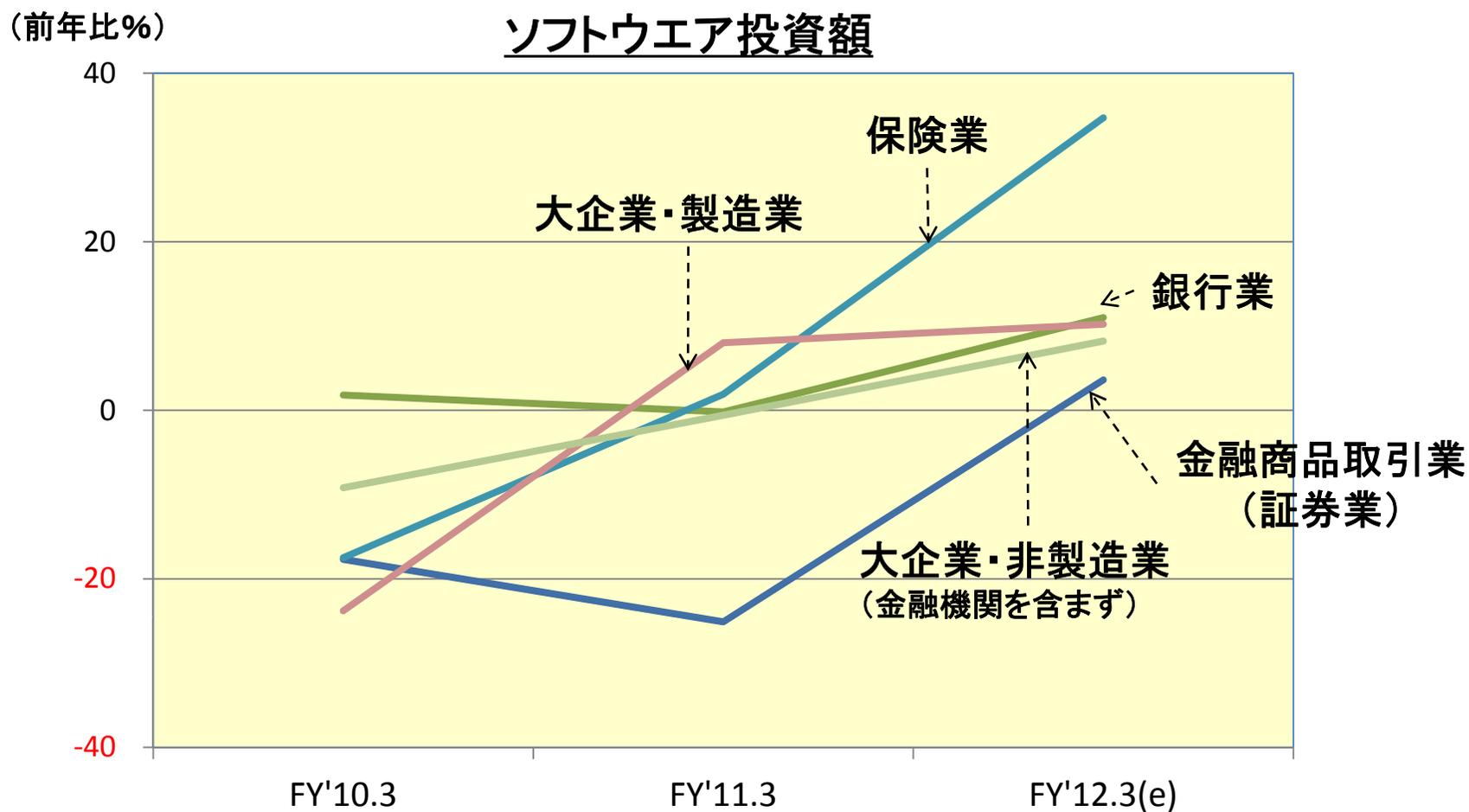
**1. 2012年3月期第3四半期決算について**

**2. 2012年3月期業績見通し**

**3. 最近の取り組み**

# 経営環境認識

## ➤ 日銀短観のソフトウェア投資計画は、概ね増加見通しを継続

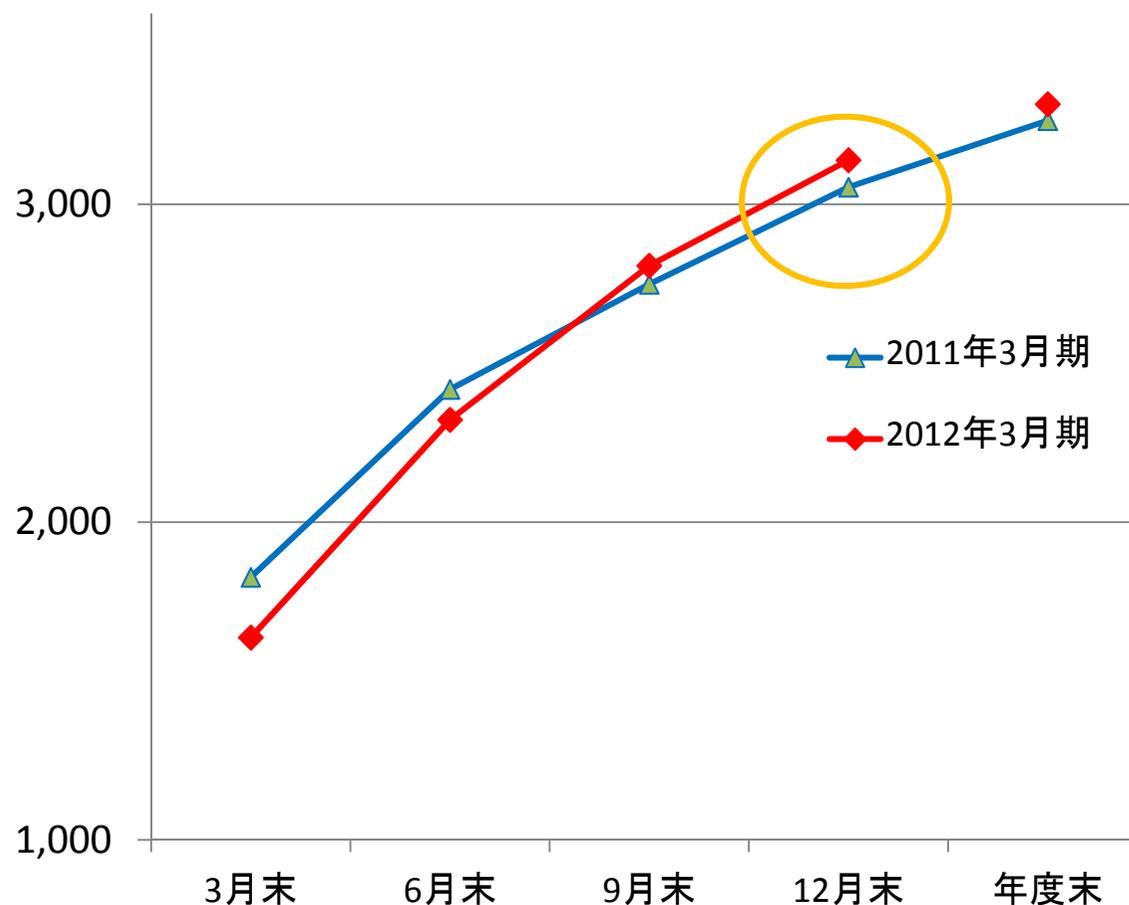


(出所)日銀短観(2011年12月調査)企業に対するアンケート調査に基づく

# 売上高累計額＋連結受注残高(うち期中分)

## ➤ 3Qの受注・受注残は好調

売上高累計額＋受注残高(うち期中分)の推移



## 3Qまでの実績と、通期の業績見通し

- 3Qまでの売上高は、通期業績予想の範囲内で推移
- OPMを維持しつつ、新規分野での事業拡大施策を積極的に遂行中

(億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2009年3月期	売上高	794	857	859	900	3,412
	営業利益	98	138	136	123	497
	営業利益率	12.4%	16.2%	15.8%	13.8%	14.6%
2010年3月期	売上高	815	853	852	864	3,386
	営業利益	99	121	106	73	400
	営業利益率	12.2%	14.2%	12.5%	8.5%	11.8%
2011年3月期	売上高	806	814	798	843	3,263
	営業利益	65	94	110	114	384
	営業利益率	8.1%	11.6%	13.8%	13.5%	11.8%
2012年3月期 (4Q,通期は予想)	売上高	784	830	828	871	3,315
	営業利益	86	114	105	123	430 (注)
	営業利益率	11.0%	13.8%	12.7%	14.2%	13.0%

(注) 今回(1/27) 予想修正

# 2012年3月期 通期連結業績予想修正のポイント

---

- **連結売上高の予想に変更なし**

**足元の状況を踏まえ、セグメント別の内訳を見直し**

1. コンサルティング向けは好調
2. 証券業向け大型案件の今期売上高寄与は、従来予想を上回る見通し
3. 一方、製造・サービス業等での新規案件増には、引き続き営業努力が必要

- **コンサルティング・金融分野の稼働率向上は予想を上回る**

1. 増収によるコンサルティングの収益性向上
2. 証券業を中心とした金融ITソリューションでの稼働率向上効果

- **来期以降の法人税率変更に伴う影響を、当期純利益予想に反映**

# 2012年3月期 通期連結業績予想

【通期】

(億円)

	2011年3月期 通期(実績)	2012年3月期 (1/27予想)	前期比		2012年3月期 (10/28予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
売上高	3,263	3,315	+51	+1.6%	3,315	—
営業利益	384	430	+45	+11.9%	420	+10
営業利益率	11.8%	13.0%	+1.2P	/	12.7%	+0.3P
経常利益	400	445	+44	+11.0%	435	+10
当期純利益	231	315	+83	+35.8%	320	△5
1株当たり当期純利益	¥119.11	¥161.29	+¥42.18	+35.4%	¥163.99	/
1株当たり年間配当金	¥52.00	¥52.00	—	—	¥52.00	—

# 2012年3月期 セグメント別外部連結売上高予想

【通期】

(億円)

	2011年3月期 通期(実績)	2012年3月期 (1/27予想)	前期比		2012年3月期 (10/28予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
コンサルティング	197	210	+12	+6.5%	201	+8
金融ITソリューション	1,949	2,010	+60	+3.1%	2,005	+4
証券業	949	995	+45	+4.8%	985	+10
保険業	544	545	+0	+0.1%	561	△16
銀行業	235	250	+14	+6.1%	236	+13
その他金融業等	220	220	△0	△0.1%	222	△2
産業ITソリューション	879	880	+0	+0.0%	896	△16
流通業	411	425	+13	+3.2%	423	+1
製造・サービス業等	468	455	△13	△2.8%	472	△17
IT基盤サービス	153	130	△23	△15.4%	123	+6
その他	83	85	+1	+2.1%	87	△2
合 計	3,263	3,315	+51	+1.6%	3,315	—

# 2012年3月期 サービス別外部連結売上高予想

【通期】

(億円)

	2011年3月期 通期(実績)	2012年3月期 (1/27予想)	前期比		2012年3月期 (10/28予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
コンサルティングサービス	329	355	+25	+7.7%	347	+7
開発・製品販売	1,170	1,235	+64	+5.5%	1,232	+2
運用サービス	1,665	1,635	△30	△1.8%	1,643	△8
商品販売	97	90	△7	△7.3%	92	△2
合 計	3,263	3,315	+51	+1.6%	3,315	—

# トップラインの拡大に向けた足元の状況

## ➤ 大規模重要プロジェクトの着実な遂行と、新規顧客創出・拡大を目指す 業種毎の足元の状況

コンサルティング		・システムコンサル、業務コンサル等の需要増、官公庁大型案件も受注
金融ITソリューション		
証券業		・野村証券へのSTAR-IV導入は開発が本格化、投資も予定通りに進行中
保険業		・既存大型顧客を中心に継続・追加案件獲得活動継続 ・業界再編の動きへの対応等による民間生損保拡大
銀行業		・インターネットバンキングシステム「Value Direct」で順調な顧客獲得、新規リリース ・信託銀行顧客の勘定系システムの刷新・開発中
その他金融業等		・資産運用系ASPでの①フロント・ミドル系サービス強化、②クラウド技術を活用したサービスの刷新や、BPO事業の推進
産業ITソリューション		
流通業		・主要顧客の国内運用サービスは増加、海外展開等の対応
製造・サービス業等		・コンシューマ・インダストリー(消費財製造業等)を中心に、新規顧客・新規案件の獲得努力を継続。顧客との戦略的業務提携の検討を開始